

(様式第4号)

第2回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和7年5月15日(木) 午後7時から午後8時30分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	橋詰会長、大島委員、北原委員、小山委員、近藤委員、桜井委員、佐藤委員、芝野委員、城下委員、中原(夏)委員、樋沢委員、渡辺委員 【欠席委員5名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、鈴木地域振興課長、竹花市民サービス課長、岩下産業観光課長、矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長、小松武石地域教育事務所長、下村地域総合調整幹、田中地域政策担当係長、佐藤地域担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年5月19日

協 議 事 項 等

1 開 会 (会長)

2 あいさつ (会長、センター長)

○前回質疑「武石地域の水道管の状況について」事務局補足説明

(事務局) 前回の地域協議会で、武石地域の水道管はいつ頃でき、計画的に更新しているかという質問があり、概要は前回、地域振興課長から説明したとおりであるが、補足説明をしたい。

まず、武石地域の水道に関しては、昭和30年に県の認可を取り、昭和31年に給水を開始したという記録が「上下水道年鑑」に掲載(ホームページにも)されている。その当時の給水人口は5,600人ということである。それから水道管は昭和47、48年頃から順次、武石村でダクタイル鋳鉄管という鉄の管に布設替えをし、ほとんどの本管はダクタイル鋳鉄管になっている。現在、ビニール管というのがまだ残っており、その管は、接続部分を接着剤で付けた管であり、布設替えをしている。現在布設替えの耐震化している管だが、熱で管を溶かして接続するという方法となっている。武石地域でも順次そういう形で管の布設替えを行っており、問題なく現在も行っているという状況である。

また、漏水について、本管(75mm~200mm)の漏水はほとんどなく、修繕している多くは本管から取り出して自宅までの細いビニール管など布設当時に石が当たっていたものが水圧で穴が開いてしまうことなどが原因である。よって、武石地域の道路での漏水本管工事は現在のところなく、漏水工事しているのは給水管である。

・委員からの意見、質問なし

○前回質疑「雲溪荘への移動手段について」事務局追加説明

(事務局) 現在、うつくしの湯が大規模改修で休館しており、徒歩でうつくしの湯に来館していた方の対応について、前回の地域協議会で要望があった。また、4月から雲溪荘の開館時間は午前10時から午後8時までとなっているが、利用者から時間延長の要望等があり、上田市地域振興事業団と協議した結果をお伝える。

まず、徒歩でうつくしの湯に来館していた方の対応について、6月から毎週木曜日に送迎車を出す。午前10時に武石地域自治センター発で雲溪荘に行ってもらい、午後1時に雲溪荘発で武石地域自治センターに戻る。車両は13人乗りのハイエースで、雲溪荘の職員が対応する。また、開館時間の延長について、今まで午前10時から午後8時までだったが、30分延長し、午前10時から午後8時30分までとし、6月1日から11月30日まで対応していく。

窓口での掲示やエリアトーク等で利用者に周知していきたいと考えているが、委員の皆さんからも近所の方などに周知をお願いしたい。

- ・委員からの意見、質問なし

3 協議事項

(1) 第1回 地域協議会協議内容の確認について【事前資料 1】(事務局説明)

- ・委員からの意見、質問なし

(2) 武石地域の住民自治組織の役割と今後の在り方について

(今後のスケジュール) 【事前資料 2】(事務局説明)

(自治会アンケート結果) 【事前資料 3】(事務局説明)

(確認事項①～③まとめ) 【当日資料 4】(事務局説明)

【質疑等】

(委員) 次回の地域協議会での住みよい武石をつくる会との懇談について、地域協議会委員も住みよい武石をつくる会の各部会に所属しているが、出席者はどのように想定しているか。

(事務局) 住みよい武石をつくる会の正副会長及び各部会の部会長に出席をお願いしたいと考えている。なお、御指摘のとおり地域協議会委員と住みよい武石をつくる会の部会長を兼務している方もいるが、そのまま両方の立場で出席していただく予定である。

4 その他

(1) 第3回 地域協議会の日程について

日時：令和7年6月12日(木) 午後7時～

場所：武石地域総合センター3階 大会議室

○「武石地域防災会議 第1回 キックオフ」【チラシ】(事務局説明)

(事務局) 近年、激甚化する豪雨災害、いつどこで起こるかかわからない大規模地震など、地域の災害リスクにどう備えるかを地域住民が主体的に考えていただくための企画として、第1回武石地域防災会議を5月31日(土)午後1時30分から武石地域総合センター1階コミュニティホールで開催する。主催は武石地区自治会連合会、武石地域協議会、住みよい武石をつくる会。今後もワークショップ形式により継続して開催を予定している。武石地域は災害については大丈夫と過信せずに、防災減災に向けて各自ができることを一緒に学んでいただきたいと思いますので、委員の皆さんもぜひ参加をお願いしたい。

- ・委員からの意見、質問なし

○「さあ、バスで行こう！美ヶ原高原観光バス」【チラシ】(事務局説明)

(事務局) 今年、美ヶ原高原までの直行バスを運行する。運行期間は、7月26日(土)から9月15日(月・祝)までのうち18日間で1日2往復。運行ルートは、上田駅、生島足島神社、武石地域自治センター、武石観光センター、そして道の駅美ヶ原高原。運賃は、武石地域自治センターから道の駅美ヶ原高原まで大人1,500円、小学生以下750円。松本方面からも美ヶ原高原までの直行バスがあり、美ヶ原自然保護センターに行くことができる。上田方面からは美ヶ原高原美術館に行って、台上でハイキングしてもらってから、バスで松本方面にも行ける。その逆もあるということで、主には関東方面からの誘客を狙っているが、運行期間は夏休みとも重なるので、家族や友達同士など、多くの方に乗車いただきたいと思います。地域自治センターだより武石7月16日号や広報うえだ等でも周知していく。

【質疑等】

(委員) チラシを見て、途中下車しにくいと感じる。1日フリーパス等があると途中で降りてくれると思う。また、上田駅まで新幹線で来ていただいて、そこから美ヶ原高原まで2,000円で行けるのはすごくメリットがあると思う。運行ルートについて、県外から来てもらい、武石観光センターでちょっと蕎麦が食べられればいい。

(事務局) 上田駅から道の駅美ヶ原高原まで途中の停留所なしという考え方もあるが、武石観光センターにも停留所を設けている。ただし、停留所が多過ぎると、運行時間がかかってしまうため、武石地域自治センター周辺では武石地域自治センターのみ停留所を設けている。また、別所温泉など塩田方面に来る観光客をターゲットに、塩田方面からのアクセスとして生島足島神社に停留所を設けている。なお、路線バスと競合してはいけないため、バス会社と調整し、生島足島神社では、上田駅からは乗車のみ、道の駅美ヶ原高原からは降車のみとしている。松本市では平日も運行しており利用者も比較的多いと聞いているが、上田市では今年度は実証実験としてスモールスタートし、地域協議会の委員の皆さんからや、運行していく中で利用者から様々な意見などがあると思うので、そういった声を聞きながら、来年度の実施に向け参考にしていきたい。

(委員) 都会の方に届く情報ツールはどのようになっているか。

(事務局) Web広告や東京都練馬区へのPR、また観光協会を通じて情報発信するなど、広域的に取り組んでいきたい。

(会長) 今回初めての試みということなので、なかなか思うような成果がもし仮に出なかったとしても、長い目で見て、数年の間はぜひ続けてやってもらいたい。

(委員) 以前、河川公園でテントを張ってキャンプをしていた方たちは、キャンプ禁止となってから、どこか別のところでキャンプしているのか。

(事務局) 巢栗キャンプ場でキャンプ可能だが、河川公園で以前キャンプしていた方たちがどこでキャンプしているかは分からない。